

# 歴史と文化

## 日本銀行本店本館 (国指定重要文化財)

📍日本橋本石町2-1-1



🏛️文化財 📍記念碑

🏛️ 日本銀行本店本館は、明治29年(1896)に中央銀行業務を行う新施設として建設されました。ジョサイア・コンドルに師事した辰野金吾が設計し、地上3階・地下1階の石積みレンガ造(石積みの内側にレンガを積んだ外壁を持つ)建築です。ベルギーの中央銀行をモデルに設計したとされ、全体を覆う重厚な石と周囲を建物で囲んだ堅牢な構造に特徴があります。ネオ・バロック様式を主としながら、壁面にはルネサンス様式の意匠を加味したデザインも施されています。

## 常盤橋門跡 (国指定史跡)

📍日本橋本石町2・3～千代田区大手町2



🏛️ 江戸城外郭の正門にあたる常盤橋門は、江戸時代から明治6年(1873)までありました。明治維新後に撤去されましたが、寛永6年(1629)に築かれた桁形石垣と濠沿いの石垣が良好に残る城門跡です。明治10年(1877)改架の石造2連アーチ橋(常盤橋)も特徴的なデザインです。

## 三越日本橋本店 (国指定重要文化財)

📍日本橋室町1-4-1



🏛️ 三越日本橋本店は、昭和2年(1927)竣工の鉄骨鉄筋コンクリート造(地上7階・地下1階)の当初部をベースに、戦前から戦後にかけて増築を重ねてきた建物です。外観は西洋の古典様式。内部は重厚な色調の三越ホールやアール・デコ調のホールなど、質の高い意匠が施されています。

## 三井本館 (国指定重要文化財)

📍日本橋室町2-1-1



🏛️ 昭和4年(1929)竣工の三井本館は、三井合名会社・三井銀行・三井信託銀行・三井鉱山などの本社が入るオフィスビルとして開館しました。鉄骨鉄筋コンクリート造(地上7階・地下2階)の建物で、外部のコリント式オーダーや内部の吹き抜けに立ち並ぶドリス式の柱が特徴的です。

## 日本橋 (国指定重要文化財)

📍日本橋1～日本橋室町1



🏛️ 慶長8年(1603)に初めて架橋された日本橋は、江戸時代から明治後期の間に20回近く架け替えられてきました。現在の橋は、明治44年(1911)に完成した石造2連アーチの橋梁で、都内でも数少ない明治期を代表する石造橋です。橋柱や四隅には東京市の繁栄を表す麒麟や守護を表す獅子のブロンズ像が据えられ、各所に施された和漢洋折衷の優れた装飾も見事に調和しています。この橋は日本橋地区の歴史的景観の骨格ともいえる建造物です。

## 日本橋魚市場発祥の地

📍日本橋室町1-8先



🏛️ 日本橋から江戸橋までの北岸(魚河岸)には、江戸時代から大正12年(1923)まで荷揚げされた近海諸地方からの魚介類や塩干魚を売買する魚市が開かれていました。日本橋魚市場の起源は、佃島の漁師たちが將軍や諸大名へ献上した残魚を販売した江戸時代初期にまでさかのぼります。